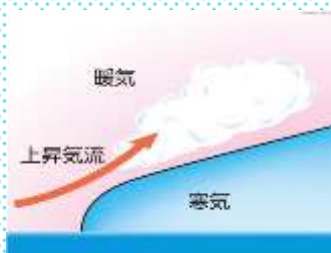


児童朝会 校長の話 6月20日

6月から7月にかけて雨の多い日が続きますね。その時期のことを何と言いますか。「梅雨」そうですね。梅の雨と書いて「ばいう」「つゆ」と言いま

梅雨

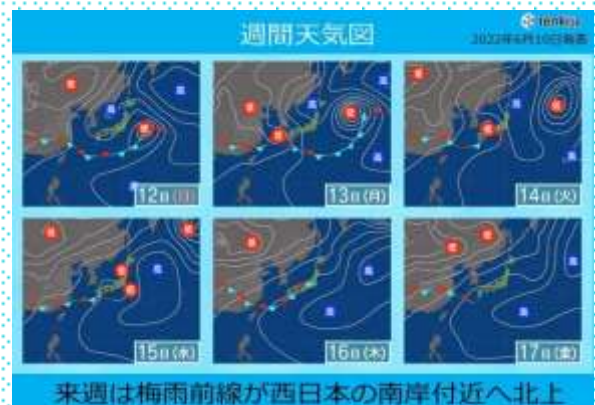
すね。どうしてこの時期になると雨が多く降るのでしょうか。空の上には大きな空気の塊があります。日本の北の方にはオホーツク海高気圧があって、その空気の塊から冷たく湿った風が吹いてきます。南の方には太平洋高気圧があって温かく湿った風が吹いてきます。その空気がぶつかったところに梅雨前線ができます。



暖かい空気と冷たい空気ぶつかると、温かい空気は軽いので上に昇っていきます。上昇気流といいいます。するとたくさんの雲ができて雨を降らせます。この温かい空気と冷たい空気がぶつかったところが梅雨前線となって、ずっと日本の上にできます。オホ

ーツク海高気圧も太平洋高気圧も、お互いに譲らずに踏ん張っているのです。その梅雨前線は長いこと日本の上に留まることになります。それで、6月から7月に中旬くらいまでは雨の多い日が続くわけです。夏になると太平洋高気圧が今よりもっと力を付けて頑張るので梅雨前線は北の方に上がってなくなります。

みなさんはテレビやネットで天気図を見ることがあるでしょう。これは、先週の天気図です。



日本の上に前線がずっと停滞しています。ですから、雨の日が多かったわけです。

今日は梅雨の晴れ間で天気がよさそうですね。天気のよい日は外で遊んだりプールに入ったりして元気に過ごしてください。雨の日も工夫しながら安全に過ごしてください。